

## 今日のキーワード 佳境を迎える「大統領候補」の指名争い（米国）

米国の「大統領候補」指名争いは、民主党、共和党とも、各州に割り当てられた代議員を獲得するレースです。代議員の総数は民主党が4,765人、共和党が2,472人で、大統領候補として正式指名を受けるには、両党とも7月の全国大会で代議員の過半数を獲得しなければなりません。4月19日のニューヨーク州予備選が終了した時点で、民主党はクリントン氏、共和党はトランプ氏が獲得議員数でリードしています。

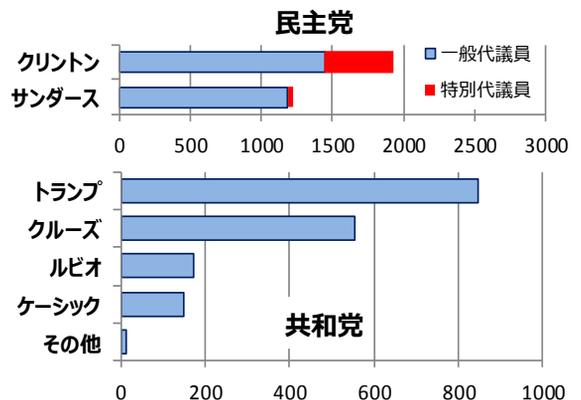
### ポイント1 大票田のニューヨーク州予備選が終了 民主党はクリントン氏、共和党はトランプ氏が勝利

- 民主党の最有力「大統領候補」のクリントン氏と、共和党でトップを走るトランプ氏は、このところ連敗を喫していましたが、ともに地元ニューヨーク州で巻き返しに成功しました。
- 現地の有力メディアCNNが集計した、これまでの各候補者の獲得代議員数は、民主党がクリントン氏1,930人、サンダース氏1,223人、共和党はトランプ氏が847人、クルーズ氏が553人、ケーシック氏が148人などとなっています（日本時間4月20日14時15分現在）。

### ポイント2 民主党はクリントン氏が「大統領候補」に指名される見込み 共和党は候補者確定までに時間を要する見通し

- 民主党の代議員には、各州の予備選などの結果が反映される一般代議員と、党の重鎮などから選ばれる特別代議員の2種類があります。このうち代議員全体の約15%を占める特別代議員の多くは、クリントン氏を支持しています。一般代議員数でも、これから予備選を迎える州のうち、カリフォルニア州など多数の代議員を抱える州の多くで、クリントン氏が優勢です。同氏が過半数を制するのはほぼ確実な情勢です。
- 一方、共和党はトランプ氏が優位に立っていますが、過半数獲得までには、まだ時間がかかる見通しです。

各候補の獲得代議員数



(注) 単位は人。ルビオ氏は3月に指名選から撤退を表明。  
(出所) 各種報道を基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 各候補の掲げる政策に注目

#### ■現時点ではクリントン氏が有利

各種世論調査などから判断すると、最終的にはクリントン氏が大統領選挙で勝利する可能性が最も高いと考えられます。日米株価への影響は小さいでしょう。

#### ■クリントン氏はTPPに反対の立場

クリントン氏の場合、おおむね現政権の政策を継続すると見られますが、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）には反対の立場であり、注意が必要です。

ここも  
チェック! 2016年4月4日 米国の雇用統計（2016年3月）  
2016年3月4日 米国の「スーパーチューズデー」（米国）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。